



平成 30 年 5 月 8 日

各 位

会社名 株式会社 魚 力
代表者名 代表取締役社長 山田雅之
(コード番号 7596 東証第一部)
問合せ先 執行役員経営企画室長 山田虎生
(TEL. 042 - 525 - 5600)

連結決算における営業外費用の計上、個別決算における特別損失の計上、
及び平成 30 年 3 月期通期業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 8 日に公表いたしました平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績数値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値と実績数値との差異
(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	百万円 28,300	百万円 870	百万円 970	百万円 750	円 銭 54.54
実 績 (B)	27,517	928	119	117	8.56
増 減 額 (B-A)	△782	+58	△850	△632	
増 減 率 (%)	△2.8	+6.8	△87.7	△84.3	
(ご参考)前 期 実 績 (平成 29 年 3 月期)	26,775	1,004	1,066	746	54.00

2. 差異が生じた理由

売上高は、小売事業において新規出店はあったものの、既存店が計画を下回ったため当初計画を下回りました。一方、当初計画を上回る粗利益率を確保し、また、人件費など販売管理費の削減に努めました。これらの結果、営業利益は当初計画を上回りました。

しかしながら、伊藤忠商事株式会社と連携し米国で鮮魚卸売事業を行ってまいりました持分法適用関連会社であるウオリキ・フレッシュ・インク（米国ニュージャージー州）について、平成 30 年 4 月 6 日同社の臨時株主総会において解散が決議されたことに伴い、持分法による投資損失 927 百万円を営業外費用に計上したことなどから、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が計画を下回りました。

平成 30 年 3 月期の実績の詳細につきましては、本日公表の「平成 30 年 3 月期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

3. 連結決算における営業外費用の計上及び個別決算における特別損失の計上

連結決算におきましては、平成 30 年 3 月期第 3 四半期決算において持分法による投資損失 133 百万円を計上しておりますが、上記に記載のとおり、当社の持分法適用関連会社であるウオリキ・フレッシュ・インクの解散に伴い、第 4 四半期にて持分法による投資損失 794 百万円を追加計上し、平成 30 年 3 月期累計で 927 百万円を営業外費用として計上いたしました。また、個別決算におきましては、関係会社整理損失引当金繰入額 655 百万円、関係会社株式評価損 189 百万円を特別損失として計上しております。

以 上